

利用成果報告書

- 1 課題番号 R5-G03
- 2 報告者 宮田 完二郎 東京大学大学院工学系研究科
- 3 利用区分 成果公開有償利用
- 4 利用課題名 ペプチド遺伝子ベクターの開発
- 5 使用装置名 microTOF (Bruker ESI-TOF MS)
- 6 利用期間 令和 5 年 4 月 1 日 ~ 令和 6 年 3 月 31 日
- 7 利用成果・実績の概要 リシン20残基からなるペプチドのN末端にマルトースを導入した人工遺伝子ベクターを設計した。この過程で、固相合成によって調製されたペプチドの評価のためにESI-MSを利用した。細胞実験の結果、マルトースを修飾したリシン20連鎖ペプチドは、マルトースを修飾していないペプチドをやや上回る遺伝子発現が確認された。
- 8 社会・経済への波及効果 マルトースを付与したペプチドにて、基盤となるペプチドを大きく上回る遺伝子発現が誘導されれば、有用な人工遺伝子ベクター開発の新たな指針を提示でき、遺伝子治療の実用化につながると考えている。
- 9 学会等における口頭・ポスター発表 該当無し
- 10 学会誌・雑誌等における論文掲載 該当無し